

第6回 いわき市立地適正化計画評価等専門委員会

議事要旨

○ 日時

令和7年2月13日（木） 13:00～15:00

○ 場所

いわき市文化センター1階 大講義室

○ 出席者

- ・ 委員（13名）
齊藤委員、瀬戸委員、熊田委員（代理：大和田氏）、吉田（智）委員、猪狩委員、門馬委員（代理：松井氏）、吉田（憲）委員、猪狩委員、佐藤（孝）委員、田中委員、大野委員、佐藤（勇）委員
※ 欠席者：新村委員、小川委員
- ・ 中村アドバイザー（日本大学理工学部土木工学科 教授）
- ・ 事務局
都市建設部都市計画課
- ・ その他
報道関係者等

○ 会議の流れ

1 委嘱状交付

2 開会

司会より開会の宣言

3 会長あいさつ

委員会会長である齊藤委員より挨拶

4 協議事項

(1) 防災指針（素案）の策定について

事務局（都市計画課）より説明。事務局案のとおり了承。

(2) 誘導区域の見直しについて

事務局（都市計画課）より説明。事務局案のとおり了承。

(3) 評価指標の分析・評価について

事務局（都市計画課）より説明。事務局案のとおり了承。

4 その他

次回委員会は、今後、事務局より提案

5 閉会

○ 委員等からの主な意見と事務局の考え（要旨）

（▲：委員・アドバイザー △：事務局）

(1) 防災指針（素案）の策定について

▲ 他自治体においては、「市民の防災・減災のまちづくりが進んでいると感じる割合」を評価指標としている事例がある。

市で定期的実施している市民調査等において、市民の防災意識がどの程度向上しているかということや、防災対策に対する満足度についてデータを収集しているのであれば、それらを評価指標とすることもできると考えられることから、一例としてご紹介させていただく。

△ 関係部局全体で、現在どのような内容の市民調査が定期的に行われているかを整理するとともに、その情報が定量的な判断ができるものになるか確認し、検討していきたい。

▲ 現在の登録防災士は何名登録されているのか。

△ 現在は 344 名（令和 6 年 12 月 20 日現在）の登録防災士が登録されている。

(2) 誘導区域の見直しについて

意見なし。

(3) 評価指標の分析・評価について

意見なし。

○ 会議の様子

